

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日:令和 6 年 3 月 21 日

公表:令和 6年3月27日

事業所名 放課後等デイサービスくるる2

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		様々な専門職で対応しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		床にマットを敷くことや、安全に配慮しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて公表しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者による評価は行いたいと考えておりますが、具体的な動きには繋がっていません。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修等に参加しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		製作や運動遊び等を日替わりで取り組んでいます。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個別での支援になることが多いが、意識的に集団遊び等を予定している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日打ち合わせを行っています。	職員間で気をつけないといけない事は情報共有しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		その日にあったことは職員間で共有するようにしている。	職員間で翌日に前日の振り返りをし、当日の業務に反映させています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		日誌の記入と気づきを個人記録に残しています。	業務日報の記入を行っています。職員は個々の連絡ノートを使い、日々あったことを細かく保護者つたえています。
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		カンファレンスを行い、必要な支援を見直している。	相談支援事業所と細かく連絡を取って、多くの意見を伺っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校との情報共有は常に行っています。	職員は送迎時に学校の先生と話し、学校や子どもの情報を共有しています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>		医療的ケア児の受け入れを行っていません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>		経験がないです。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		児童館にて他児と交流しています。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		保護者との連携を図っています。	職員と保護者で子どもの状況は把握できるように努めています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>			

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に面談を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時、保護者からの相談があればその場で船団を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後は機会を作っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応窓口を周知しています。	職員は送迎時に保護者と話をすることを、日頃から心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に手紙を発行しています。	活動全般を保護者に伝えています。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報の取り扱いは職員間で注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードを活用しています	連絡帳、送迎時に連絡をとっています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練は年に四回、防災教育やBCP訓練等も定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修を全職員行なっています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			ホームページ等に、身体拘束適正化のための指針を公表しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			年に3回ヒヤリハット委員会で共有を行っています。月に1回の職員会議でも話をしています。